

はじめに

『NWEC 実践研究』第3号のテーマは「課題解決型学習」です。

「課題解決型学習」とは、日常的な身近な問題や地域の課題を解決していくための実践的活動や事業と結びついている学習を意味しています。現在進められている「第3次男女共同参画基本計画」の第14分野「地域、防災・環境、その他の分野における男女共同参画」の中でも「地域において、固定的性別役割分担意識を解消するための意識啓発を更に進めるとともに、課題解決型実践的活動への移行を推進する」ことが施策の基本的方向に挙げられています。

また、平成24年8月に中央教育審議会生涯学習分科会がとりまとめた「第6期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（中間とりまとめ）1」でも「地域住民の協働による地域課題の解決や地域の活性化などの地域づくりの取組を促進」するために、学習を通じて市民意識を高め、必要な知識・技術を身につけること、そしてその成果を社会参画や社会貢献につなげる実践的な学習機会の提供が重視されています。

「課題解決型学習」は、男女共同参画を推進するためにも、生涯学習の振興のためのどちらにも共通する重要なテーマだといえるでしょう。第3号ではこのテーマの研究や地域での実際の取組に関する論文を掲載しています。そのほか、現在NWECで実施している事業の報告を併せて掲載しています。『NWEC 実践研究』が地域の男女共同参画を進める上で広くご活用いただければ幸いです。

現在、国立女性教育会館では、平成24年4月から進められていた「国立女性教育会館の在り方検討会」が8月に提示した報告書をベースに、これまでの事業を見直しております。新しいNWECには、日本の男女共同参画社会形成に向けた活動を行う「新たな推進機関」として、教育・学習の対象を広げ、その対象者に応じた効果的な教育・学習支援やそれを支える調査・研究・プログラム開発が求められています。これからも事業の成果をこの『NWEC 実践研究』で発信していく予定です。

NWEC 職員一同、新生NWECを新たに作り上げていこうと決意しておりますので、引き続きあたたかいご指導をいただけますよう、あらためてよろしくお願いいたします。

独立行政法人国立女性教育会館 理事長 内海 房子